

2027年国際園芸博覧会の概要

- 2027年国際園芸博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を目的として開催。
- 本博覧会では、多様な屋内外の展示、コンペティション、行催事等を通じて、以下に取り組む。
 - ① 花・緑・農に関連した最新技術の国内外での共有による、SDGsの達成やグリーン社会の実現の推進
 - ② 国内の優れた花きの魅力や、日本庭園・いけばな等の文化の発信を通じた、花き園芸産業・造園業等の発展への貢献
 - ③ 花の名所や様々な庭園をはじめとする観光資源との全国的な連携を通じた、観光振興

開催概要

位置付け：最上位の国際園芸博覧会（A1）
※我が国では1990年の大阪花の万博以来の開催

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha）
（横浜市旭区・瀬谷区）

開催期間：2027年3月19日～9月26日
（6か月間）

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態含む）
※大阪花の万博では約2,300万人が来場

会場建設費：約320億円

テーマ：幸せを創る明日の風景
～Scenery of the Future for Happiness～

開催主体：一般社団法人
2027年国際園芸博覧会協会
※園芸博法に基づき国が指定

開催場所・会場イメージ



相鉄線「瀬谷駅」から北に2 k m

